



2022年5月期(第36期) 決算説明会

株式会社ウェザーニューズ
2022年6月30日

WN **weathernews** *Always WITH you!*

1. 2022年5月期 決算概要

2. 2023年5月期 業績予想

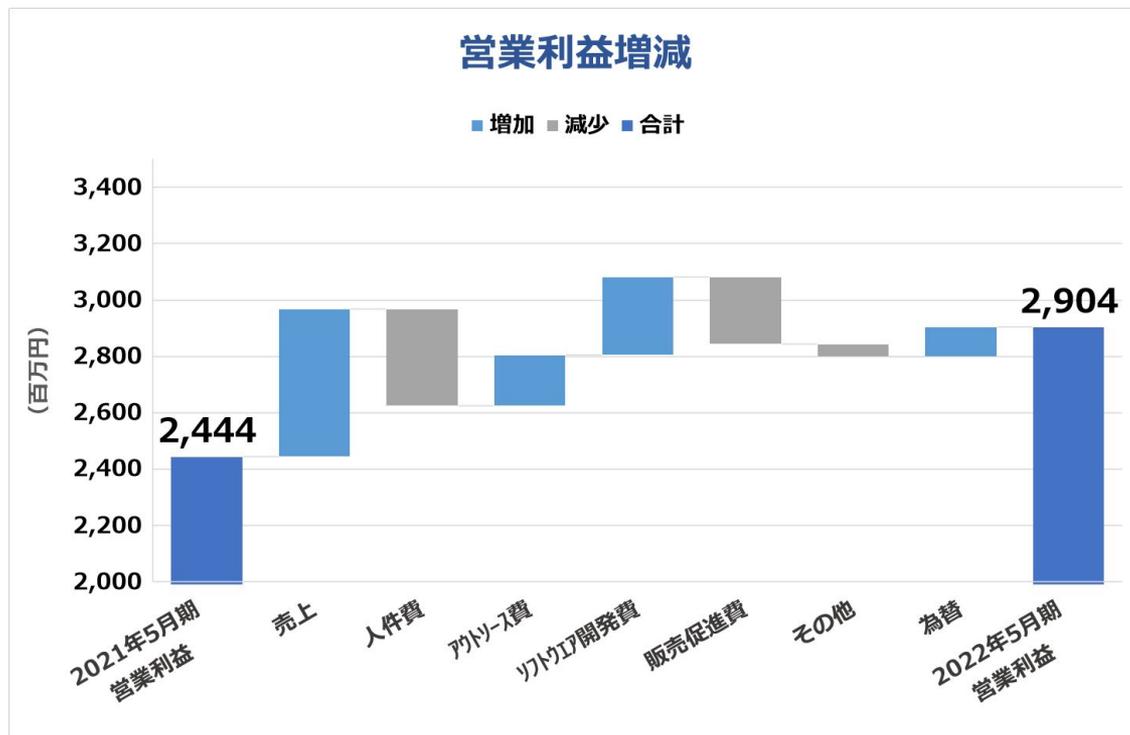
【売上】19,650百万円（前期比4.3%増）モバイル、航海気象で増収

【営業利益】 2,904百万円（前期比18.8%増）広告投資継続、開発体制のインハウス化推進

単位：百万円	2021.5 実績	2022.5 計画（直近見直し）	2022.5 実績	前期比	計画比
売上高	18,843	19,500	19,650	+4.3%	+0.8%
営業利益	2,444	2,800	2,904	+18.8%	+3.7%
営業利益率（%）	13.0	14.4	14.8	+1.8Pt	+0.4Pt
経常利益	2,554	2,900	3,063	+19.9%	+5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,861	2,000	2,157	+15.9%	+7.9%
EPS（円）	169.8	182.0	196.3	+26.4	+14.2円
ROE（%）	12.5	-	13.4	+0.9Pt	-
為替（JPY/USD）（円）	106.2	108.1	113.9	+7.7	+5.8円

※直近見直し：2021年12月28日発表の業績予想値

- テレビCMやネット広告等の広告投資の促進による販売促進費の増加
- エンジニアの継続的強化に伴う人件費の増加
- 開発、運営体制の最適化に伴うアウトソース費・ソフトウェア開発費の減少

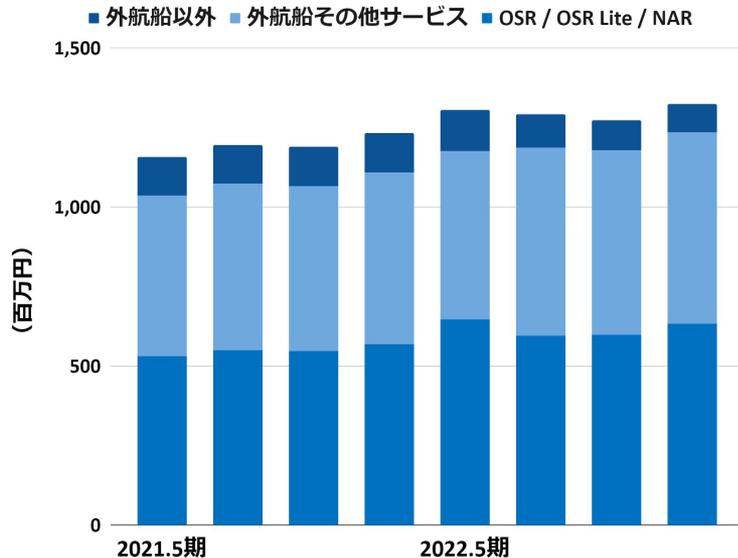


1. 2022年5月期 決算概要 事業別売上

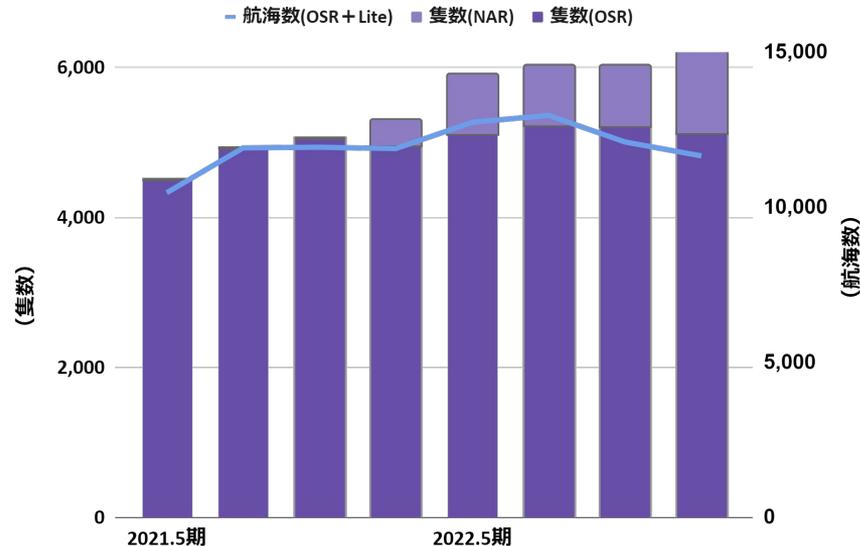
単位：百万円	2021.5 実績	2022.5 実績	前期比 (%)	事業状況
航海気象	4,798	5,202	+8.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃高騰で海運市況は活況も、港湾混雑等で荷動きの鈍化継続 ・ 座礁防止やCO2排出量削減サポートの新サービス投入により増収
航空気象	927	934	+0.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアライン市場において年間を通じてコロナ影響が継続し、売上が伸び悩む ・ 国内ヘリ市場での動態管理システムの拡販により増収
陸上気象	3,651	3,262	△10.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道及び高速道路市況は回復傾向も従来水準までは戻らず ・ 一部顧客の売上減少が影響し減収
環境気象	869	894	+2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー価格高騰が継続。再エネ転換が更に加速し発電量予測の引き合い増加 ・ 製造、小売向けはマーケティング強化を継続。全体では増収
その他BtoB	13	65	+388.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ競技大会における気象情報提供サービスで売上増
モバイル・インターネット気象	6,106	6,821	+11.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な広告投資を通じた認知度向上によりアプリ利用者数が増大 ・ 予報精度の改善や様々な独自コンテンツの配信によりユーザーの満足度や利用頻度が向上し、サブスクリプション売上および広告収入が増加
放送気象	2,477	2,470	△0.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災情報ニーズが高まる一方、一部顧客への売上が減少

- 全体市況：運賃高騰で海運市況は活況も、港湾混雑等で荷動きの鈍化継続
- 隻数：既存顧客の採用増でサービス提供隻数は6,300隻まで増加35期末 5,300隻

航海気象 売上高の四半期推移

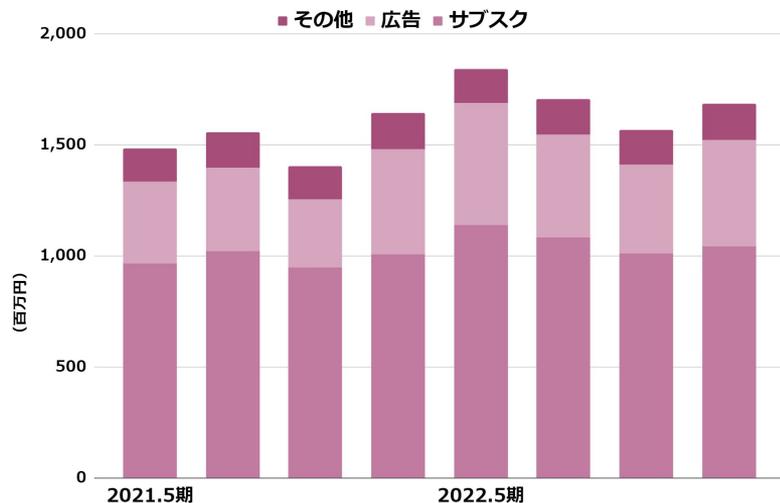


サービス提供隻数および航海数の四半期推移

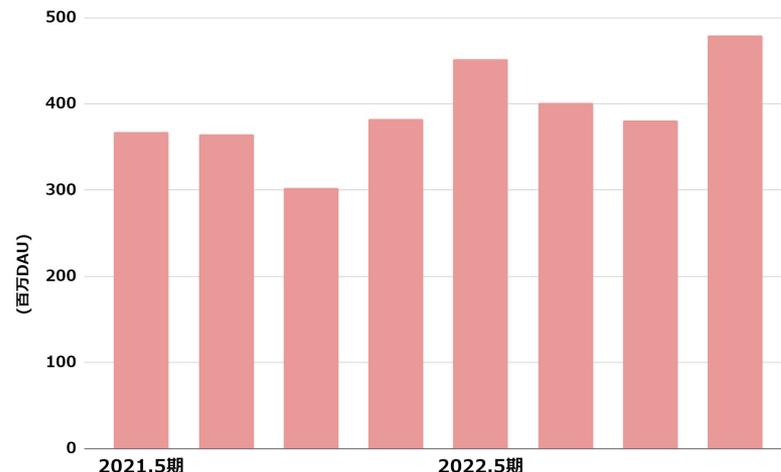


- 予報精度改善、独自コンテンツ充実、広告投資強化でユーザーの利用頻度が向上
- 累積DAU (Daily Active Users)が増加しサブスクリプション売上・広告収入が成長

Mobile・Internet気象事業の売上高 四半期推移



累積DAU 四半期推移



※2022年5月期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用したことにより、当連結事業年度におけるモバイル・インターネット気象の広告事業において従来の会計処理方法に比べて売上高及び費用がそれぞれ 159百万円の減少となっています。

[設備投資] アジャイル型開発へのシフトに伴うソフトウェアの資産計上額の減少
[研究開発] 新型レーダー試作の前期一時費用の減少(研究開発部門は拡大)

単位:百万円	2021.5 実績	2022.5 実績
設備投資	612	479
減価償却	843	871
研究開発	599	534
従業員数	1,101名	1,120名

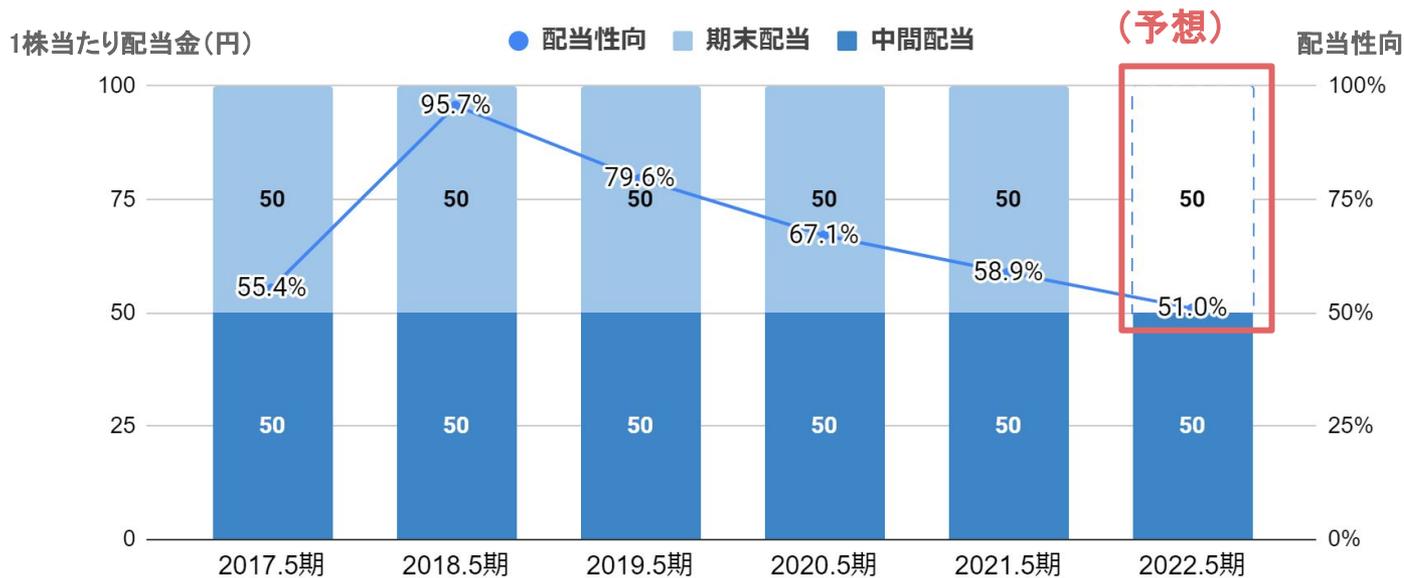
【売上】21,000百万円（前期比6.9%増）モバイル事業の成長継続、航海・航空の市況回復による増収

【営業利益】 3,200百万円（前期比10.2%増）広告投資、新規事業投資、開発体制の効率化は継続

単位：百万円	2022.5 実績	2023.5 予想	前期比 (%)
売上高	19,650	21,000	+6.9%
営業利益	2,904	3,200	+10.2%
営業利益率 (%)	14.8	15.2	+0.4Pt
経常利益	3,063	3,300	+7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,157	2,400	+11.3%
EPS (円)	196.3	202.6	+6.3円
ROE (%)	13.4	13.8	+0.4Pt
為替 (JPY/USD) (円)	113.9	120.0	+6.1円

<配当方針>

「高貢献、高収益、高分配」の考えのもと、配当性向50%を目安に経営成績と資本効率、配当利回りなどを勘案し、1株あたり年間配当金を100円とする。



※2022年5月期の期末配当は2022年8月の定時株主総会で決議予定、2023年5月期の中間・期末配当は未定。

APPENDIX

単位：百万円	2021.5 実績	2022.5 実績	増減
流動資産	13,349	15,314	1,965
固定資産	4,343	3,812	△531
資産合計	17,692	19,127	1,435
流動負債	2,185	2,163	△22
固定負債	67	119	52
負債合計	2,253	2,283	30
純資産合計	15,439	16,843	1,404
自己資本比率 (%)	86.8	87.6	+0.8Pt
1株あたり純資産 (円)	1,399.2	1,523.3	+124.1円

連結損益計算書 (2021年5月期4Q vs 2022年5月期4Q)

単位：百万円	2021.5 4Q実績	2022.5 4Q実績	前年 同期比 (%)
売上高	5,156	4,936	△4.3%
営業利益	783	784	0.2%
営業利益率 (%)	15.2	15.9	+0.7Pt
経常利益	877.0	946	7.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	652	679	4.1%
EPS (円)	59.5	61.8	+2.3円
ROE (%)	-	-	-
為替 (JPY/USD) (円)	105.4	117.3	+11.9円

事業別売上 (2021年5月期4Q vs 2022年5月期4Q)

単位：百万円	2021.5 4Q実績	2022.5 4Q実績	前期比 (%)
航海気象	1,251	1,330	6.3%
航空気象	233	248	6.4%
陸上気象	1,083	773	△28.6%
環境気象	258	233	△9.7%
その他BtoB	5	4	△20%
モバイル・インターネット気象	1,650	1,692	2.5%
放送気象	684	665	△2.8%

単位：百万円	2021年5月期実績				2022年5月期実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
航海気象	1,161	1,196	1,190	1,251	1,306	1,293	1,273	1,330
航空気象	231	214	249	233	221	224	241	248
陸上気象	752	808	1,008	1,083	790	802	897	773
環境気象	205	206	200	258	202	219	240	233
その他BtoB	6	1	1	5	34	25	2	4
モバイル・インターネット気象	1,486	1,563	1,407	1,650	1,845	1,712	1,572	1,692
放送気象	593	609	591	684	586	611	608	665



当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、業績予想など将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。